

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 141-8582
 住 所 東京都品川区大崎一丁目2番地2号
 氏 名 株式会社日本アクセス 印
 代表取締役 田中 茂治
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社日本アクセス		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区田辺新田1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	52	飲食料品卸売業
主たる事業 の内容	加工食品卸売業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		2,015 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	川崎物流センター
		所在地	川崎市川崎区田辺新田1
	電話番号		044-328-2210
	FAX番号		044-328-2211
	メールアドレス		0
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	22年度～24年度 (報告年度24年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 3,457 t-CO ₂ (調) 2,745	(実) 3,585 t-CO ₂ (調) 2,847	(実) 3,299 t-CO ₂ (調) 2,620	(実) 3,373 t-CO ₂ (調) 2,679	(実) 3,353 t-CO ₂ (調)
削減率		(実) -3.7 % (調) -3.7 %	(実) 4.6 % (調) 4.6 %	(実) 2.4 % (調) 2.4 %	(実) 3.0 % (調)

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	延床面積		単位	t-CO ₂ /m ²	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値	0.08822	0.09149	0.08419	0.08608	0.08557
削減率		-3.7 %	4.6 %	2.4 %	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	猛暑による夏季業務量の増加が要因となり、冷凍倉庫内等の冷凍機器の稼動頻度が上がったため、排出量・原単位共に上がってしまった。
第2年度	冷凍機定期的温度チェック管理、省エネ（蛍光灯間引、エアコン28度設定）を行った結果、排出量、原単位が4.6%改善した。
第3年度	第1年度、第2年度に引き続き省エネを実施（エアコン28度設定、LED照明に変更等）。3年目ということで目標にわずか届かなかったのは残念だが、できることをコツコツ積み重ねた結果、基準年度に比べ排出量、原単位共に2.4%改善した。3年を通して、季節要因等で基準を上回った年もあったが、多少なりとも改善ができていたかと思う。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○エネルギー管理体制の構築 ○冷凍・冷蔵機の効率管理 ○照明設備の運用管理 ○事務用機器等の管理
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○エネルギー管理体制の構築 本社管理統括者、推進者、拠点管理員の選任 ○冷凍・冷蔵機の効率管理 冷凍・冷蔵機器の温度管理徹底、定期的な チェック体制確立 ○照明設備の運用管理 可能な範囲での照明間引点灯、社員不在時の消灯 徹底、省エネ照明導入 ○事務用機器等の管理 従業員使用、全パソコンの省エネモード設定
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○エネルギー管理体制の構築 本社管理統括者、推進者、拠点管理員の選任 ○冷凍・冷蔵機の効率管理 冷凍・冷蔵機器の温度管理徹底、定期的な チェック体制確立 ○照明設備の運用管理 可能な範囲での照明間引点灯、社員不在時の消灯 徹底、省エネ照明導入 ○事務用機器等の管理 従業員使用、全パソコンの省エネモード設定
	第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ○エネルギー管理体制の構築 本社管理統括者、推進者、拠点管理員の選任 ○冷凍・冷蔵機の効率管理 冷凍・冷蔵機器の温度管理徹底、定期的な チェック体制確立 ○照明設備の運用管理 可能な範囲での照明間引点灯、社員不在時の消灯 徹底、省エネ照明導入 ○事務用機器等の管理 従業員使用、全パソコンの省エネモード設定
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	社用車のエコカーへの切替（2010年11月～保有2台を順次低排出ガス車、ハイブリッド車へ切替え）
第1年度	平成22年度は、社用車2台の切替時期でなかったため、切替未実施。
第2年度	平成23年度は、社用車2台の切替時期でなかったため、切替未実施。
第3年度	平成24年度は、社用車2台の切替時期でなかったため、切替未実施。

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	3,744	t-CO ₂
(調)	3,736	

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎物流センター	川崎市川崎区田辺新田1	5229	その他の食料・食品卸売業	2,951 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1以上1,500k1未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k1 未満	1
300～400k1 未満	
200～300k1 未満	
100～200k1 未満	
100k1 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--